

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105354
法人名	松山医療生活協同組合
事業所名	グループホームなないろ
所在地	松山市立花二丁目2番15号
自己評価作成日	平成22年6月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

殆どの利用者の方が地域で生活をされていたので、慣れ親しんだ環境の中で生活されており、ご家族の訪問も多く、家庭的な雰囲気。1ユニットで、顔なじみの関係が形成され、きめ細やかなケアを心掛けています。一人ひとりの個性や意向を大切に、ケアプランを作成している。意欲支援表を作成し、利用者の皆様に生きがいを持ってもらいたいと家族のお墓参り、自宅への外出、好きな歌手のコンサートに行く等利用者の方々・ご家族と相談しながら充実した時間が過ごせる支援を目指しています。又、協力病院が近くにあるので、医師・理学療法士・管理栄養士・訪問看護師の協力を得て、安心して暮らせる環境を提供出来るように努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

地元から入居されている利用者が多く、散歩途中でご自宅に立ち寄り、ご近所の方に出会うこともあり「編み物が上手で以前、セーターをいただきました」等、利用者のご自宅で暮らしておられた頃の様子を話して下さる方もある。毎月、お華の先生がボランティアに来てくださっていたり、又、フルート演奏、元寿司職人の人がホームでにぎり寿司を握ってくださったり、高校生がピースの作品と一緒に作ってくれることもあり、地域のいる方と利用者交流できるような機会がある。
散歩を楽しまれたり、好きなDVDを借りに行かれる等している。職員が、希望を聞いて露天風呂や外食、お花見に出かけたり、パチンコに出かけることもある。ふるさと訪問や実家を訪れたり、兄妹のお見舞いや墓参りに出かける等、個別で希望に沿った外出支援にも取り組まれている。
法人の「医療研究会」全国集会で、管理者は「グループホームにおける意欲支援計画書の取り組みについて」発表された。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームなないろ

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

平野小百合

評価完了日

H22年 6月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 開設当初から理念の変更は無いが、定期的に話し合い自分達が行なって行きたい目標になっているか話し合いを持っている。利用者・家族にも説明して、皆の見える場所に、利用者を書いてもらった理念を掲げている。理念の中にある生きがいを感じる生活を支援して行く為に、意欲支援計画書等を作成し活用している。	
			(外部評価) 利用者が筆で書いてくださった事業所の理念を居間に掲げておられた。管理者と職員で定期的に話し合いを持ち、理念に沿ったケアが行われているか確認されている。特に「楽しく」を大切に、地域での利用者の暮らしを支えておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方に運営推進会議に参加して頂いている。天気の良い時は散歩に出掛けお話ししたり、1階部分にあるデイサービスの利用者と交流したりする事が多い。地域のお祭りではお神輿の休憩場所を提供したり、近くの保育園児からも慰問をうけたたり、地域の敬老会のお誘いを受けたりして交流を持っている。まもるくんの家の申請もしている。	
			(外部評価) 地元から入居されている利用者が多く、散歩途中でご自宅に立ち寄りたり、ご近所の方に出会うこともあり「編み物が上手で以前、セーターをいただきました」等、利用者がご自宅で暮らしておられた様子を話してくださる方もある。毎月、お華の先生がボランティアに来てくださっていたり、又、フルーツ演奏、元寿司職人の人がホームでにぎり寿司を握ってくださったり、高校生がビーズの作品と一緒に作ってくださることもあり、地域のいろいろな方と利用者が交流できるような機会がある。「利用者の目線に立って生活できるように近所同士のお付き合いをしています」と管理者は話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 研修・ボランティアの受け入れを行なっている。介護に興味を持っている方の為に介護教室を開催するお知らせを掲示しているが開催には至っていない。母体の病院では定期的に医学講座を開催している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について 報告や話し合いを行い、そこでの意見を サービス向上に活かしている	(自己評価) 地域の方に参加して頂き、勉強会や消防活動への協力 要請を行っている。運営推進会議には利用者の皆様にも 参加して頂き、生活していく上での感想等を伺い、 その意見を参考に会議を進めて行く事が多い。改善した 事があれば、議事録やグループホーム便りに記載し 多くの方に興味を持って頂く様に努力している。	
			(外部評価) 会議は、消防署の方や地元消防団の方にも出席いただき 行っておられ、消防署の方から「災害時の避難経路 の明示や地域の協力者を増やし、日頃の避難訓練に力 を入れて欲しい」とご意見をいただき、地域の協力者 の「防災緊急連絡網」を地図でも示しておられ、事務 所に掲示されていた。今年度からは、家族会と運営推 進会議を抱き合わせて行う機会も作ることを計画され ていた。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り 、事業所の実情やケアサービスの取組 みを積極的に伝えながら、協力関係を築 くように取り組んでいる	(自己評価) 毎回、運営推進会議には参加してもらっている。ケア の方向性を相談したり、ヒヤリハットが出た時に相談 にのって貰っている。定期的にグループホーム便り・ 運営推進会議議事録等を郵送したりしている。	
			(外部評価) 地域包括支援センター主催の「事業所連絡会」や「勉 強会」に参加されている。センターの方とは、ホーム の空き情報の共有もされている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を 正しく理解しており、玄関の施錠を含め て身体拘束をしないケアに取り組んでい る	(自己評価) 職員の見守り方法を検討し、鍵のかかっていない生活 を支援出来るよう工夫している。権利擁護・身体抑制 に対する研修に参加したり、事業所内で勉強会を行 なっている。ベット柵の利用の仕方は、本人又は、ケ アプラン説明時に家族の意思を確認するようにしてい る。	
			(外部評価) 他施設の事例等を用いたり、言葉の拘束についても話 し合い、身体拘束について内部研修を行っておられ る。「利用者が点滴を受ける際にも、職員が付き添い 拘束をしないで済むように支援」されている。退院間 もない方は、安静を保つため、ご本人ご家族と話し合 い、ベット柵をされている方もあったが、管理者と職 員でケアについて日々話し合いながら取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) マニュアルの作成を行う他、研修会への参加、スタッフミーティングにて検討したり、虐待防止に努めている。利用者家族にも、面会時は時間制限せずに来所して貰い、他の利用者との交流を持って頂き、開放的な空間にするよう心掛けている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) マニュアルを作成している他、研修会に参加している。現在の利用者からは問い合わせ等は無いが、グループホームの玄関にパンフレットを置く等の工夫をしている。管理者のみで対応するのではなく、全職員の見識を深めていきたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は家族の協力を得て丁寧に説明を行なうようにしている。暫定的な、ケアプランも提案し、グループホームの環境に早く慣れて貰える様に、家族からの情報をもらえるようにしている。医療との連携についても、話し合う時間を持っている。介護報酬改定時には勉強会を持ったり、説明文章を配布したり、電話連絡をとる等を行なっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営に対する利用者の意見を積極的に受け止め、おやつの際に茶話会を持ち、話し合いの場を持って頂いている。具体的には、食事の時間の持ち方、入浴の時間帯、外出先、行事内容等、利用者の意見を反映出来る様に工夫している。家族会も年に2回のペースで開催し改善点や満足度の確認を行うようにしている。 (外部評価) 年2回家族会を開催されており、ご家族と事業所のケアサービスについて、気付いたこと等を出していただき話し合われている。ご家族からいただいたご意見等をもとにサービス向上に努めておられ、その内容についてはホーム便りやご家族の来訪時に伝えるようにされている。「職員の名前がわからない」という意見については、エプロンに布製のネームを貼ることにされたり、又、「食事介助の必要な利用者は食事が冷めてしまう」というご意見を受けて、レンジで温め直したり、ご本人の食べたい時に盛り付けることにされた。玄関には、利用者個人の日々の暮らしぶりのアルバムを置いておられ、見ていただいてからご本人に会ってもらえるようにされていたり、携帯電話のメール等を利用してご家族との関係作りにも工夫されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営者との会議を定期的に持ち、職員の意見を伝える場を設けている他、ミーティングの時や随時職員の意見や提案を聞く機会を持っている。運営推進会議でも運営者も参加し意見を求めるようにしている。リロケーションダメージを避ける意味でも、職員の勤務交代等には、配慮している。	
			(外部評価) ミーティング時に職員の気付きや意見を出し合い、話し合われており、職員からの意見で、利用者の外出支援が行いやすくなるよう、早出や遅出の職員の業務内容等も検討された。又、年1回、運営者と面談する機会も設けられている。松山で行われた法人の「医療研究会」全国集会で、管理者は「グループホームにおける意欲支援計画書の取り組みについて」発表された。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員の負担を考慮しながらも、利用者のニーズに応じて柔軟な勤務体制が取れるような工夫をしている。職員研修にも力を入れ、積極的に参加出来るようにしている。職員が資格を取れる為の協力も行い、今年は、介護福祉士の資格を1名取得できた。約半数の職員が介護福祉士の資格を持っている。	
			(自己評価) 職員は自分で、年度の目標を設定し、達成出来るように努力している。研修会での学びを全員が共有できるように研修内容を報告出来る機会を作るようにしています。外部で行なわれる研修会も積極的に参加している他、法人内でも月1回程度のペースで研修を行い、高い参加率を維持している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員は自分で、年度の目標を設定し、達成出来るように努力している。研修会での学びを全員が共有できるように研修内容を報告出来る機会を作るようにしています。外部で行なわれる研修会も積極的に参加している他、法人内でも月1回程度のペースで研修を行い、高い参加率を維持している。	
			(自己評価) グループホーム協会での相互の交換研修に参加し、他のグループホームでの経験し学びを得る様にしている。運営推進会議に他のグループホーム職員に参加して貰ったり、連絡会に参加するようにしている。グループホームだよりを互いに送付しあったりしている。	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入所を希望されている方で可能な場合は、ご家族と一緒に見学して頂き、都合が良い時は、しばらくグループホームで過ごして頂いたりしている。利用開始前には自宅を訪問し、どのような環境で過ごされていたか把握するように努力している。	
			(自己評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族が相談に来られた時点でしっかりと話を聞き、現時点での必要とされている内容を把握するようにしている。必要なら、受け持ちのケアマネと連携し対応している。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用待機人数が多く、必要と思われる時期利用できない事が多い。担当ケアマネにも連絡は入れるが適切な対応が難しい。入所の時期には早いと思われる時は、家族と相談し待機して頂いている場合もある。1階のデイサービスを利用されて待機されている方は、時折、声を掛け状況を把握する工夫をしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ケアプランは利用者・家族・担当職員・計画作成担当で話すように心掛けている。歩行練習等は本人と家族間で目標設定をして貰うよう工夫している。食器の片付け、洗濯物物をたたむ等は茶話会の時に話し合い、利用者が参加出来る事を話し合う機会を持ち、参加して頂くようにしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 外出行事の時に参加し車椅子を押して頂いたり、年に2回食事会を開き一緒に過ごして頂く時間を持つたりしている。毎日の様に面会に来られる家族と一緒に散歩をして頂く等家族の気持ちに合わせ支援している。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 近所に住んでおられた利用者が多く、自宅に外出したり、承諾がある場合は友人を訪ねたりする事もある。昔馴染みの美容室に通われている方もいる。友人への電話や年賀状を出す為の支援を行ったり、担当していた、ケアマネにグループホーム便りを送ったり、面会に来て貰う等の交流が保たれる努力をしている。 (外部評価) ご自宅で暮らしておられた際の居宅のケアマネージャーが会いに来てくれたり、職員が同行して、ふるさと実家を訪ねて兄妹に会ったり、お墓参りができるように支援されている。ご主人の葬儀時には、管理者が付き添われた。葬儀の際に、ご主人とお別れする折、ぼつりと「あんた、まだ早い」と発した言葉に、親族の方が涙されたようである。近所の人達からは「おばちゃん元気?」「ちゃんのおばちゃん」「おばちゃん、ちゃん元気?」等と子どもさんの名前を出して声をかけてくれる人もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事やお茶の時間が楽しくなるように会話が持てる様な支援をしたり、利用者同士の関係が円滑に行くよう職員が調整役になる支援を行っている。利用者同士の交流も多くみられ、お部屋を訪問したりする人間関係が形成されてきている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院された場合は、お見舞い等にもお伺いしている。長期入院された、利用者へのフォローは難しいが、家族より連絡を頂く事は多い。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 受け持ち職員が中心となり、意欲支援計画書を活用し、一人ひとりの思いを大切に支援する事に力を入れている。自分の意思が表現しにくい方も家族と話し合うようにしている。里帰りや墓参り、好きな歌手のコンサートに行ったり映画鑑賞をする。ご家族のゆとりがある時に自宅に帰ったり等の支援を行っている。 (外部評価) 事業所では、日々のかかわりの中から「本人がどのように暮らしたいのか」「何をしたいのか」ということについて情報を集めておられ、歌や踊りがお好きな利用者がコンサートに出かけたり、時代劇のDVDを借りに行き楽しむことができるよう支援されている。意思表示のむづかしい方には、ご家族からの情報や以前ご本人にかかわっていた居宅のケアマネジャー、訪問看護師や病院の関係者からも情報を得るようにされており「暮らしの情報シート（生活史シート）」に記録して、介護計画に採り入れるようにされていた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者の年表を作成したり、入所前のお話を家族より詳しくお伺いしている。利用者が興味深い話題を把握し、食事やお茶の時に話して頂いたり、得意な事を教えて頂いたりしている。職員の経験も長くなり共有出来る出来事も多くなり、安心して過ごせる空間を提供出来る様にしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) グループホームでの一日の大きな流れは決まっているが、それに左右される事なく、マイペースで時間が過ごせるように、一人ひとりの体調に合わせて支援している。体調が良い日は散歩に出掛けたり、落ち着かない日は、なるべく一緒に過ごし、見守る時間を多くする等工夫している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>介護計画を立てる時は、本人・家族の意向を取り入れたものになるように話し合った上で決めていく。月1回のペースで検討会を行っている。意向を取り入れ実践した上で、評価し、次に繋げるように努力している。介護者側からだけの計画にならないように心掛けている。チーム全体でケア技術が向上するようにマニュアルも適宜追加している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>意欲支援計画書、暮らしの情報、日々の記録、看護記録、診療内容等の情報と、ご本人ご家族の意向を採り入れ、ご本人ご家族、担当職員、管理者の四者で話し合って介護計画を作成されている。3ヶ月毎の見直しと状態変化時には、随時見直されており、変更したことを青字で記入されている。ケアポイント等も記入して、全職員で共有しやすいようにされている。ピーズ作りが得意な方の作品を協力病院で販売することを支援できるよう、計画に採り入れておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>最近では利用者ご家族に説明した事も記録に残すようにしている。行なった事を記入するのみでなく、見やすい様に排泄やバイタルサインを記入できるように表を作成している。日々の変化がわかり易く、介護計画にそって実践されたか評価し、気づきも記録に残しておく等、今後も工夫を行って行きたい。研修にも参加予定している。</p>	
			(自己評価)	
		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の中には、合併症の為、色々な診療科の受診が必要な利用者が居られる為、予定に合わせて受診介助をしたり、必要な場合はご家族と一緒に医師の指示を仰いだり、スムーズに検査等が受けられるような支援を行っている。必要時は関連病院に協力して貰い、理学療法士・管理栄養士等にアドバイスを受けながら対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>毎月ボランティアの先生に来て頂き、花道教室を開催している。利用者の楽しみになっており、上達もしている。民生委員、町内会長さんも訪問してくれる。フルーツのコンサート・琴の演奏会等のボランティアの方々の訪問も受け、充実している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業 所の関係を築きながら、適切な医療を受 けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 殆どの利用者が協力病院を受診していた方が多い。協力病院 より毎週、往診して貰っている。耳鼻科・眼科等への受診も 職員が付き添う様にして円滑な治療が受けられる様に支援し ている。急な発熱等にも、協力病院からのサポートがある。 毎月、診療情報を提供してもらい健康維持・病状安定に努め ている。</p> <p>(外部評価) 歯科の訪問診療の際、医師は、他の利用者が話しかけられる ことにも耳を傾けてくださったり、口腔ケアや義歯の扱い等 について職員にもアドバイスをくださる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえ た情報や気づきを、職場内の看護職員や 訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利 用者が適切な受診や看護を受けられるよ うに支援している</p>	<p>(自己評価) 専任の看護師が配置され24時間体制で連絡が付くようにして いる。利用者の些細な体調の変化を見逃さないように気を付 けている。急な体調変化にも、協力病院の訪問看護ステー ションが協力的で、スムーズな治療・処置が受けられる様支 援してくれている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院 できるように、病院関係者との情報交換 や相談に努めている。または、そうした 場合に備えて病院関係者との関係づくり を行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院によるダメージを少なくする為に、日頃の様子を細かく 病院に申し送るようにしている。入院中も面会に行き病棟看 護師の協力を得て状況の把握、退院前にはミーティングを行 い、グループホームへの復帰がスムーズに行くよう支援して いる。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と 支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に 説明しながら方針を共有し、地域の関係 者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 医療に対する意志確認書を作成し、意向に合わせての対応を 行なうようにしている。日頃からも、家族と医師の連携を取 れる様に体調や検査結果等を日頃から報告するようにしてい る。重度化するような疾患が判った場合は、希望に添い医 師・訪問看護師など医療との連携を図り安心して看取りが行 なえる環境を整えている。</p> <p>(外部評価) 管理者は、利用者が意思表示が出来る間に、終末期のケアに ついて希望を聞くようにされている。「ここで死にたい」と 希望されていた利用者には「今なら入院が出来ますが、どの ようにされますか?」と、ご本人の意向を確認しながら、ご 本人の意思を大切にされた支援に努めておられる。これまで2 名の利用者の看取りを支援されており、がんの末期の利用者 には、訪問看護師と緩和ケアについて話し合われたり、お好 きなものを食べられるよう支援されたり、点滴にも職員が付 き添われた。ご家族も頻繁に来訪された。医師からは「病院 ではここまでは長生きは出来なかった」と感想をいただい た。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 24時間体制で常勤看護師・協力病院との連携が取れる様にしている。緊急時の対応マニュアルを整備している。職員の殆どは、消防署での普通救命講習を受講している。急変時にスムーズに実践出来るように研修を重ねていきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災・災害時に備えて、地域の方々をメンバーに加えた、緊急連絡網を整備した。運営推進会議に地域の消防団の方に参加して頂いた。防災計画を作成、防火管理者を配置している。年に2回の避難訓練を消防署の協力を得て、利用者・職員共に行なっている。今後は、地域の方の参加もお願いして行く予定。火災報知機・消火器の設置を行い。カーテン等は防災のものを使用している。 (外部評価) 運営推進会議で地域の人達の協力をお願いされたり、話し合いながら、すすめておられる状態である。消防署の方からのアドバイスもいただき、避難経路の確保やベランダへの誘導時間を計る等をされた。又、防災のビデオを利用者と職員で見られた。居室入り口には、利用者それぞれの状態に合わせて、避難方法がリボンの色で示されており、居室のドアにも同じ色のリボンを貼っておられた。建物の2階部分に位置する事業所であり、夜間等、協力病院からも応援に来てもらえるように依頼されている。	消防署の方のアドバイスに沿って整備されたり、実際に協力いただいける方と一緒に訓練を行う等、全利用者、職員の安全と安心に向けて取り組みを重ねていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日頃から、利用者との会話は年長者としての敬意を払い対応できるよう気を付けている。自己決定を尊重し、利用者の誇りを傷つけないよう接遇に配慮している。居室に入室する際も声掛けとノックを行い、プライバシーの確保が出来る空間を大切にするように心掛けている。 (外部評価) 職員は、馴れ合いにならないよう、言葉遣い等にも気を付けて日々支援に取り組んでおられる。調査訪問時、食事の際にスプーンを持った手が上がりにくい利用者に、職員は右手をそっと添えて、ご自分で口に運べるように介助されていた。昼食後の利用者の動き等も見ながら「お部屋で休めますか？」と声をかけておられる様子も見られた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 一人ひとりの体調に合わせて、ゆったりした対応が行なえる様に努力している。利用者の気持ち、嗜好等を考慮した対応を職員間でも共有出来るように申し送ったり介護記録に残すように工夫している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者のペースに少しでも合わせられるように、食事・入浴等の時間を利用者とは相談しながら決定している。外出・買い物等も希望時に出来るように対応している。食事時間もゆとりを持たせ、朝寝坊もしても大丈夫というように職員も対応している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自己決定が出来る方は、自分の好みに合わせておしゃれできるように、取り易いところに衣類を整理したり、衣替えを支援したりしている。好みの洋服を購入出来るよう、外出支援している。お気に入りの洋服で、写真を撮影して差し上げている。お化粧をされている利用者や冬は、着物を着ておられる方も居られる。利用者全員、朝衣類に夜は寝衣に着替えて頂き、生活のリズムを整えている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者に献立を相談し決めているが、管理栄養士に総合的に栄養バランスをチェックしてもらっている。旬の物や・行事に合せた食事に気をつけている。下ごしらえを手伝って下さる利用者も多くもやしの根切り・ごぼうの筐がき・餃子作りなどをお願いしている。自分で食べやすいような食器を使用するよう心掛けている。食事量の低下・糖尿病等の方は協力病院の管理栄養士に指導を受けたりもしている。 (外部評価) 事業所で食事作りをされており、利用者が食べやすい形態や味付けを工夫されている。個々の好き嫌い等も把握され、お好きなそうめんなら、そのまま食べられることが分かり、ご本人が食べることを楽しめるように見守り等もされている。職員は、献立の説明をしながら食事介助をされ、一人ひとりに合わせたスプーンやコップを使用できるようにされている。お茶のお代わりが出来るように、テーブルの上に急須が用意されていた。きれいにお化粧をして、食事を共にして下さる利用者もあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量は毎回記載している。脱水予防の為に頻回に水分補給を行なっている。夜間も必要な方にはトロミ水等を補給して貰っている。医師や管理栄養士のアドバイスも受け易く栄養補強食品・食物繊維を必要な方には提供している。食事の形態も利用者に合わせて調節し、治療食にも対応している事で、病状の安定した利用者の方が多い。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアが出来るように支援している。入れ歯の清潔が保てるよう、毎晩入れ歯の消毒・洗浄をしている。利用者のペースが守られるような口腔ケア方法を確認し支援している。訪問歯科診療も受けて貰い適切な口腔ケアが行なっているかアドバイスを受けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 利用者の排泄パターン、身体的能力を加味しながら、尿意の訴えない利用者も日中はトイレでの排泄介助を行なっている。排泄チェックリストを作成して排泄があった時間帯を把握し失禁を予防している。利用者の能力に応じてどの様なオムツや尿パッドを利用するか時間帯や体調によって調節している。 (外部評価) 昼間は、トイレで排泄できるよう支援されている。排泄ケア一覧表に昼夜のケアをメモして、ミーティングで話し合いながら個々にとって適した支援ができるようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便が何時あったかは、ケアにあたる職員全員が把握するようにしている。出来るだけ、自然に排便が出る為に、食物繊維を利用したり、食事に繊維の多いものを使ったり、運動や歩取りを取り入れたり温電法や腹部マッサージを行なう等の工夫を行った上で、必要な方には、医師に相談し緩下剤の処方を受けているが、状態によって調整を行なうようにしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者と相談し週間の入浴スケジュールを決めている。予定を決める事で、ご家族も入浴時を避けて訪問して下さるようになってきた。週3回から4回の入浴回数が多いが、余裕のある日は、お誘いして入浴して頂くようにしている。便失禁等で必要なときは随時入浴して頂ける様に工夫している。今の所、利用者からは満足の声が聞かれるが、必要時は、同性介助・夜間入浴等にも対応して行きたい。 (外部評価) 居室には、ご本人によく分かるよう大きくした「入浴予定表」を貼っておられた。入浴剤を入れたり、仲良しの方同士で入浴されたり、歌を歌いながら入浴される方もある。現在は、入浴を嫌がる利用者はおられないようで、個々がお風呂を楽しめるような支援に努めておられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 高齢の為か時間のサイクルがずれていく利用者に対しても臨機応変に対応し徐々に修正して行けるよう支援している。利用者の一人ひとりの睡眠パターンを把握し必要な方には午睡をとって頂いたりしているが、基本的には日中は集中出来る事や散歩や楽しみにしておられる事を演出し生活のリズムが整うように支援している。利用者の中では殆どの方は安定剤等の薬剤に頼らずに安眠できている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 協力病院ではワンパック包装に協力して貰い誤薬を防ぐ他、利用者が自分で内服しやすいよう工夫している。職員全員が服薬内容が把握出来るように、薬効・内服量・副作用等を記載した薬剤ファイルを作成している。新しい薬が処方された場合は必ず申し送るようにしている。誤薬が無い様に薬ケースに整理して保管し、何回もチェックして投与するように心掛けている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 月に1階お花教室を開催し、生け花を楽しんでおられる。季節に合せた行事を行い花見・夕涼み会・忘年会は家族の方も参加して頂いている。毎年、ペランダにミニトマトを植え収穫したり・ボランティアの方が家庭菜園での野菜を収穫させて下さったりしている。最近、時代劇のDVDを借りに行きお好きな利用者同士で鑑賞する事が流行っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 頻繁に声掛けを行い、体調の良い方は買い物や散歩にお誘いして外出支援を行っている。利用者の体力に合わせて、近所を散歩する等の外出の機会を作っている。希望に合わせて夜でも、夕食を食べに出掛けたり、イルミネーションを見に行ったり柔軟な対応を心掛けている。今後の予定としても、家族と一緒に墓参りや好きな歌手のコンサートを見る等の企画をしている。	
			(外部評価) 日々、散歩を楽しまれたり、好きなDVDを借りに行かれる等している。職員が、希望を聞いて露天風呂や外食、お花見に出かけたり、パチンコに出かけることもある。又、ふるさと訪問や実家を訪れたり、兄妹のお見舞いや墓参りに出かける等、個別で希望に沿った外出支援にも取り組まれている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人の能力に合わせてご家族の同意を得て、自己管理をされている方や、日頃はグループホームで管理し、買い物の時に手渡し、自分で払って貰うようにしたり、個々にあわせての対応を行なっている。毎月、家族に使った内容を報告し確認して貰っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 毎年、職員が写真入りの年賀状を作成し差出人は利用者で出すようにしている。利用者の方にお手紙を書いて貰おうとしているが、億劫臥られるので、グループホームだよりを郵送する時に、近況を職員が報告したり、利用者の写真を堂宇風したりする。お返事を下さるご家族も多いので、利用者が喜ばれる。電話に関しては、希望時はダイヤルを回して差し上げたり、家族から掛かってきたらゆっくり話せるよう、居室で電話の子機で話して貰う等の環境を整えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>玄関・洗面所等に季節の花を飾ったりしている。玄関を入るとすぐにトイレがあるので、こまめに利用者が使用した後は汚れていないか匂いがこもっていないかチェックして気持ちよく使用できる様に工夫している。玄関には利用者の最近の写真を張り、ご家族にも最近の様子が判り易い様に工夫している。BGMも利用者の気分に合わせて変更できるようCDの種類を多く揃えている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関には、利用者の笑顔の写真が飾られてあり、ボランティアの方と一緒に作成したビーズ作品や生花も飾られていた。掃き出し窓が大きくとってあり、ベランダも広い造りで七夕飾りがあったり、植木鉢にはトマトを育てておられた。居間は、ゆったりとしたソファに座って、好きな時代劇のDVDを鑑賞できるようにされている。昼食時には、童謡の歌が小さな音で流されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>グループホーム全体が狭いのでゆったりした空間が中々取れないので苦労している。リビングのソファが自分の指定席だと思っておられる方が多く職員が間に立ち対応している。ベランダに花を植えているので、利用者の方をお誘いして楽しんでもらっている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入所時から利用者・本人と相談し、思い入れのある品は持って来て頂く様打ち合わせしている。利用者それぞれに、神棚・仏壇等を居室に置いて貰ったり、小物入れを職員と作り利用したりされている。家族・自宅から見える風景の写真を引き伸ばして壁に飾ったり、好きな歌手のポスターや故郷のお祭りの様子ノカレンダー等それぞれの思いを大切に支援を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>好きな歌手のカレンダーやポスターを貼っておられたり、ご家族が訪問した際に撮った写真を大きく伸ばして飾っておられる居室もあった。ご自分が生けたお花や鉢植えを置いておられる方もあった。仏壇を持ち込んでおられたり、曾孫さんの命名札、他の利用者の方からもらった神社のお札を貼っている方もあった。机の上に時計を置いていたり、日本人形やぬいぐるみを飾っておられ、ふるさとのだんじり祭りのポスターを貼っている利用者もあった。ベッドで過ごす時間が多い方には、ナースコールで職員を呼べるようにされていた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>身体レベルに合わせて居室の位置を変更し、残存機能の維持を心掛けている。ソファの座面を高くし立ち上がりし易くしたり工夫している。利用者の行動を観察し、安全な動作が行えるよう側で見守りを行うように気を付けている。</p>	